

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究  
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

|                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| 実施自治体・担当課（連絡先） | 高知市市民生活部人権啓発課<br>電話： 088-823-9355 |
|----------------|-----------------------------------|

1. 概要

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 事業名                         | ヒューマンコミュニケーション2004                         |
| 主催(共催)                      | ヒューマンコミュニケーション2004実行委員会・高知市・高知市教育委員会       |
| 実施年月日・実績等<br>*回数・参加人数・作成部数等 | 2004/12/10 18時30分～ 1回公演 入場者数700名 出演者数 約50名 |
| 開催場所                        | 高知市 かるぽーと・大ホール                             |
| 対象                          | 市民・市職員等                                    |
| 人権課題                        | 子ども・高齢者の人権課題を中心に人権課題全般を取り上げた。              |

2. 事業内容

|   |
|---|
| <p>(1)事業の目的</p> <p>世界人権宣言、国の人権尊重に関する考え方、高知市総合計画・人権尊重のまちづくり施策等に基づき、広く市民に人権尊重意識の大切さを呼びかけ、市民とともに人権に関して考える啓発事業実施を目的とする。多彩で斬新な手法を取り入れたものとした。</p> |
|---|

|  |
|--|
| <p>(2)事業概要</p> <p>○高知市は1994年から独自の人権啓発事業として、ヒューマンコミュニケーション事業を人権週間に合わせて実施してきた。これまでは市職員と市民による手作りの啓発劇等を実施してきたが、ヒューコミ2004は少し趣を変えた。というのも募集をしても参加する市民の数が減少し人数を確保することが困難となったためである。そこでヒューコミ2004は地元高知市のセミプロ劇団を中核として、ヒューコミ2004実施のための実行委員会を結成し、そこに創作人権ミュージカルの製作を委託した。さらに、主な人権課題を子どもに関するものとして、小学生を公募し、また高知市地区人権啓発推進委員会委員長による劇中劇を取り入れ、その他の人権課題について考える機会とした。</p> <p>○劇練習期間中に劇団員や公募の小学生にも数度の人権学習を実施し、単に演じるだけでなく人権啓発をなぜ高知市が実施しているのかについて認識を深めてもらった。</p> <p>○劇は人権というものについてあまり関心のない市民にも観てもらえるものをめざし、人権を考えるきっかけのひとつとなるものとした。</p> <p>○上演にさきだって、人権課題について学習を積んでいるこども会による和太鼓の演奏を実施した。</p> |
| <p>(2)-1 連携状況</p> <p>出演者の公募については、各専門学校や大学、企業等に呼びかけを行った。</p>  |
| <p>(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)</p> <p>ポスター・チラシのデザインは市職員がおこなった。</p>  |
| <p>(3)参加者の反応・事業の反響等</p> <p>アンケートによってもおおむね好評であり、参加者数も予想より多かった。</p>  |
| <p>(3)-1 反省点・今後の課題</p> <p>上演時間が劇中劇の関係もあり、少し長くなった。今後とも一つの啓発方法にとらわれることなく、さまざまな手法を取り入れ啓発事業を実施していきたい。</p>  |